

「土壌の物理性」投稿規定

1. 「土壌の物理性」は、土壌物理学会が発行するオープンアクセス記事を含む学会誌である。
2. 筆頭著者は本学会会員であること。
3. 投稿原稿の区分と規定ページは下記による。
 - 1) 「論文」(Original papers) : 独創性があり、土壌の物理性に関する研究および技術の進歩に寄与すると見なされるもの。一編ごとに論文としての構成を整えていて、他誌に未発表のものに限る。規定ページを刷り上がり8 ページ以内とする。
 - 2) 「研究ノート」(Notes) : 土壌の物理性に関する新しい事実や研究方法の改良などの短い報告で、独創性があり他誌に未発表のもの。規定ページを刷り上がり6 ページ以内とする。
 - 3) 「総説」(Reviews) : 土壌の物理性に関する主題について、それまでの研究を総括し、今後の発展方向を展望するもの。規定ページを刷り上がり10 ページ以内とする。
 - 4) 「解説」(Lectures) : 土壌の物理性に関する諸事項の理解を計るための平易な解説、ならびに研究技術の普及交換を進めるための紹介など。規定ページを刷り上がり8 ページ以内とする。
 - 5) 「研究紹介」(My research) : 現在行っている研究、他の学会誌等に掲載された論文、研究上の工夫などについての平易な紹介。規定ページを刷り上がり6ページ以内とする。
 - 6) 「資料」(Miscellaneous) : 広く会員の参考となる報告や情報。規定ページを刷り上がり6 ページ以内とする。
 - 7) 「土粒子」(Readers' column) : 「土壌の物理性」周辺のことについての随想や意見など。規定ページを刷り上がり2 ページ以内とする。
 - 8) 「講座」(Lecture series) : 「解説」と本質的な違いはないが、特に編集委員会が企画して複数回にわたって行うものを指す。規定ページを刷り上がり8 ページ以内とする。
 - 9) 「特集」(Topics) : 「解説」, 「総説」, 「論文」, 「研究ノート」が混在したもので、特に編集委員会が企画して複数回にわたって行うものを指す。規定ページは上記1)~4)に同じ。
 - 10) 「書評」(Book reviews) : 規定ページを刷り上がり2 ページ以内とする。
 - 11) 「巻頭言」(Foreword) : 規定ページを刷り上がり2 ページ以内とする。なお、上記区分において、編集委員会が会員または会員以外に投稿依頼することがある。
4. 原稿の採否は編集委員会が決定する。編集委員会は、「論文」および「研究ノート」については2名、その他の投稿原稿には1名の閲読者を選んで閲読を依頼する。ただし、「資料」、「土粒子」、「書評」、「巻頭言」については、この限りでない。
5. 投稿原稿が3. に記す規定ページを越える場合には、1ページあたり10,000円を著者負担とする。ただし、編集委員会が会員または会員以外に投稿依頼した原稿の場合はこの限りでない。また、カラー印刷の場合は実費を著者負担とする。
6. 投稿する場合は、投稿原稿(本文、図表含む)および原稿送り状(別紙書式)のPDFファイルを編集委員長宛に提出する。ただし、編集委員会が別途指示した場合はこの限りではない。
7. 投稿原稿を受け付けた場合、編集委員会は速やかに受付番号と受付日付を明示した電子メールまたは書状を投稿者に送る。また、投稿原稿の掲載を決定した場合、最終原稿を受領したのちに受理日付を明示した書状を著者に送付する。
8. 著者に対して修正を求めた原稿が、特別な事情なく6ヶ月以内に再提出されないときは取り下げと見なす。
9. 著者校正は初校のみとする。また、特に申し出がない限り印刷ずみの原稿は返さない。
10. 掲載された論文等のPDFファイルを著者に贈呈する。また、著者は別刷りを印刷業者から購入することができる。
11. 掲載された論文等は土壌物理学会ホームページ上にも掲載する。論文、研究ノート、総説、解説、資料、講座については、掲載誌発行後一年間は土壌物理学会員のみが閲覧できる。また、著者はオープンアクセス料50,000円を支払うことで、掲載記事をオープンアクセスとすることができる。ただし、投稿時に筆頭著者が土壌物理学会会員かつ大学生・大学院生または学位(学士・修士・課程博士(社会人含む)いずれの場合も含む)取得後10年以内である場合は、オープンアクセス料を免除する。
12. オープンアクセス記事はクリエイティブ・コモンズ非営利、改変禁止ライセンス(CC BY-NC-ND)の条件の下で掲載される。CC BY-NC-ND条件下の記事は、どのような媒体や形式であっても適切な帰属表示の下、自由にコピーや再配布を行うことができる。この記事から二次的著作物を生成することはできず、また記事を商業利用のために使用することはできない。著者が希望する場合は、CC BYライセンスを選択すること

も可能である。CC BY条件下の記事は、どのような媒体や形式であっても適切な帰属表示の下、自由にコピー、再配布、改変、商業利用できる。

13. 本誌に掲載された論文等の著作権は土壤物理学会に帰属する。ただし、著者がオープンアクセスを選択した場合の著作権は、出版権設定契約書への署名によって著者に帰属する。

(2025.3.5 改正)